

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 3 月 22 日

事業所名 コペルプラス中板橋教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			
	②	職員の配置数は適切である	8			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	非該当(1)		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	1		
業務 改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	2 非該当(1)	業務改善に係る問題提起と対策協議、実行は都度行っている	今後も継続して、すべての職員が参画する体系的な PDCA サイクルを実施していく
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	非該当(2)		出された意見について職員間で共有し、利用者に丁寧に対応していく
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	1 非該当(5)	開所年度のため今回新たに公開する	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3 非該当(4)		開所年度のため第三者評価を実施する機会はない
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	2		質・量の向上が必要
適切 な 支 援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		実情に合った形で実施している	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	非該当(1)		

の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8			
-----	---	--	---	--	--	--

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2 非該当(1)		カンファレンスの機会を増やす
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	2 非該当(1)		チームワークをベースとしたコミュニケーションを通じて精度を上げていく。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1 非該当(1)	終礼時に実施	今後さらに共有の場を拡大していく
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	1		
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	2 非該当(1)	該当事例はないが必要に応じて参画していく	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	1 非該当(2)	発達支援センターと適宜連絡を取り合っている	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	非該当(7)		該当児童の事例はない 対象児童の利用がある際は連携を強化していく

携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	非該当(7)		該当児童の事例はない 対象児童の利用がある際は連携を強化していく
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	非該当(3)	家族の要請に応じて行っている	今後数を増やしていく
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2 非該当(3)	区の「就学支援シート」にて情報共有を図っている	該当事例はない 保護者からの希望も含めて今後積極的にやっていく
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1 非該当(2)	区の事業所連絡会や発達ネットなどを通して連携や研修参加している	今後数を増やしていく。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	4 非該当(2)		保護者からの要請により関係機関連携は行っている 今後積極的に行っていく

	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	5 非該当(1)		機会があれば参加希望ではあるが参加対象にはなっていない
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		年長児保護者向けに懇談会を行った	保護者からの要望も多いため、今後計画的に機会を設定していく
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	5 非該当(1)		家族のニーズも適切にとらえ、内容を精査して今後積極的に取り組んでいく
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8			
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		療育時に児発管がコミュニケーションをとる機会を都度図っている。適宜個別相談も実施	保護者が相談しやすい環境について配慮し、今後も積極的にコミュニケーションを図っていく。

	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	5 非該当(1)	年長児保護者向けに懇談会を行った	保護者からの要望も多いため、今後計画的に機会を設定していく
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8		保護者からの相談や意見については都度ていねいに対応し、回答や改善に努めている。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1 非該当(1)	教室内掲示、紙面配布、公式 LINE の活用	今後も積極的に情報発信していく。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	8		職員に周知徹底を行っている	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		各児童の特性を理解し、意思疎通を図っている。療育後は保護者とレッスン内容やお子様のストロングポイントなどについてフィードバックを行う時間を設定している。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6 非該当(1)	近隣には開所時に管理者があいさつ回りを行った。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	2	現在準備中 契約時詳細説明 職員間では共有する 機会は持っている	今後精査してマニュアルを整備し、積極的に周知徹底と実施していく
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	非該当(1)	火災想定、地震想定で2回実施している 保護者への情報発信も実施済み	今後もあらゆる想定で非常時の対応を習慣化していく
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	4	アセスメントシートや面談にて情報収集している	今後もアセスメント時や日々の保護者とのコミュニケーションを通して、より精度の高い確認をしていく
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	3 非該当(3)	アセスメントシートや面談にて情報収集している。医師の指示書がある該当児童はいない。	

④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1 非該当(1)	ヒヤリハット報告は共有している	事例集は今後精査していく
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	3 非該当(1)	サービス担当者会議等で適宜お子様の対応について共通認識を図っている。今月研修会を実施する	
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	1 非該当(2)	契約時に確実に保護者説明を行っている。必要時には速やかに実施していく。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。